

2 ふれあいの時間に

期末テストが終わった日、先生が、

「ふれあいの時間に、六年生の楽しい思い出を作りたいと思います。何をしますか。」

と、おっしゃった。みんなは歓声をあげ、次々と意見を出した。

「サッカー大会をしたらいいと思います。」

運動が得意な鈴木君の、自信に満ちた意見であった。あちこちから、賛成する声が多く出た。

そのとき、わたしは、

「山田さんのことは、考えなくていいのですか。」

と言った。一しゅんしいんとなったが、

「審判しんぱんしてもらったらいいと思います。」

と、どうしてもサッカー大会をしたい鈴木君が言った。

秋の運動会するときも、足に障害のある山田さんが参加するにはどうすればよいかということについて話し合ったのだった。そのときは、とんだり走ったりする運動は山田さんには無理だということになり、どうにか参加する方法はないかと考えた結果、放送係として運動会に参加することになったのであった。プログラムを案内するはつらつとした山田さんの声が、今もはっきりと記憶に残っている。みんなすばらしい運動会だったと喜んでいたが、しかし、これで山田さんが本当に参加したと言えるのだろうか、心に引っかかっていたのだった。

「山田さんも同じ事をしたかと思っっているのではないですか。もし、わたしが山田さんであれば、そう思います。」

「ほとんどの人がサッカー大会をすることに賛成しているのだから、審判をしてもらったら同じ事をしていいることになると思います。だから、サッカー大

会がいいです。」

「ぼくも、そう思います。大勢の人が賛成しているのだし、審判として笛をふくことも参加することに変わりないと思います。」

こんな話し合いの間、山田さんは、だまってうつぶいたままであった。「山田さんは、どんな気持ちでこんな話し合いを聞いているのだろうか。きっと山田さんだって、みんなと同じ事をして楽しく過ごしたいと思っているはずだ。」と思って、わたしは、

「無理に外でサッカー大会をしなくても、教室でお楽しみ会のような行事をしても楽しい思ひ出は作れると思います。みんなが参加してこそ、意味があるんじゃないでしょうか。」

と言った。近藤さんも、

「山田さんが、みんなといっしょにやれるものを考えたらいいと思います。山田さんのことを本当に考えるなら、そうすべきだと思うのです。」
と言ってくれた。

「賛成、賛成。」

という意見が、あちこちから出た。

今までの意見を静かに聞いていた山田さんは、
「わたしのために、いろいろと心配してくれてありがとう。わたしも、どちらかと言えばみんなと同じ事がしたいです。」

と、小さな声で言った。教室でするといふ意見に反対する子は、だれもいなかった。

グループに分かれて出し物を出し合うこと、一グループに与えられた時間などが、どんどんと決まっていた。次の日から、放課後を利用して練習が開始された。山田さんのグループは短い劇げきをするということになり、せりふを覚え



たり小道具を作ったりと、忙し^{いそが}そうである。他のグループも、工夫をこらした出し物を準備している。

いよいよ当日となった。山田さんは、大きな声をはり上げてせりふを言っていた。そのせりふの声と運動場で場内放送する山田さんの声が、わたしの頭の中で交さくした。

サッカー大会でなく、室内でこのような会ができて本当によかったと思った。まだ、山田さんのせりふが続いている。やがて、大きな拍手^{はくしゅ}に変わった。



3 ニンジンの取り入れ

土曜日の午後のことである。祖父が外から帰ってきて、

「まさお、今日はニンジンの取り入れを手伝ってくれることになっていたな。」と言った。うちは農家で、今ごろはニンジンの取り入れでも忙しく^{いそが}している。けれど、前から家族と約束をしていたのをすっかり忘れてしまっていた。

「うん、でも、あの……先生に用事をたのまれたので、学校に行かなくちゃならないんだけど……。」

と、口ごもりながら言った。実は昨日、学校の帰りに友達と野球をする約束をしていたのだ。

「じゃあ、その用事が終わったら帰って手伝ってくれるな。」

「うん。できるだけ早く帰ってくるよ。」

2 ふれあいの時間に

4-(3) だれに対しても差別をすることや偏見をもつことなく公正、公平にし、正義の実現に努める。(公正公平、正義)

□主題設定の理由

〈ねらいとする価値について〉

人は、周りの人々の中で自分の存在を認められることで安定した生活を送ることができる。差別や偏見は、そんな心の安定を崩し、人がよりよく生きていこうとする力を奪うものであり、決して許されない行為である。

このような差別を許さず、公正公平な立場で物事を見る目を育てるためには、自己をかけがえのない存在であると自覚するとともに、他の人々もそれぞれにかけがえのない存在であるということをしっかりと認識させる必要がある。そして、自分も人も幸せに暮らせる社会の実現に向かって努力していくことが大切である。

〈子どもの実態について〉

この時期の子どもたちは、相手の気持ちを思いやり、その人のことを考えた行動がとれるようになってくる。また、学級で起きた問題も自分のこととして捉え、どのように行動すべきか判断する力も育ってくる。しかし、現実には自分の好き嫌いや利害関係などから、自分に有利

にふるまう姿も見られる。そんな毎日の生活の中で、お互いの人間性を認め合って、よりよい人間関係を築いていくことの大切さを理解させながら、実践意欲を高めていきたい。

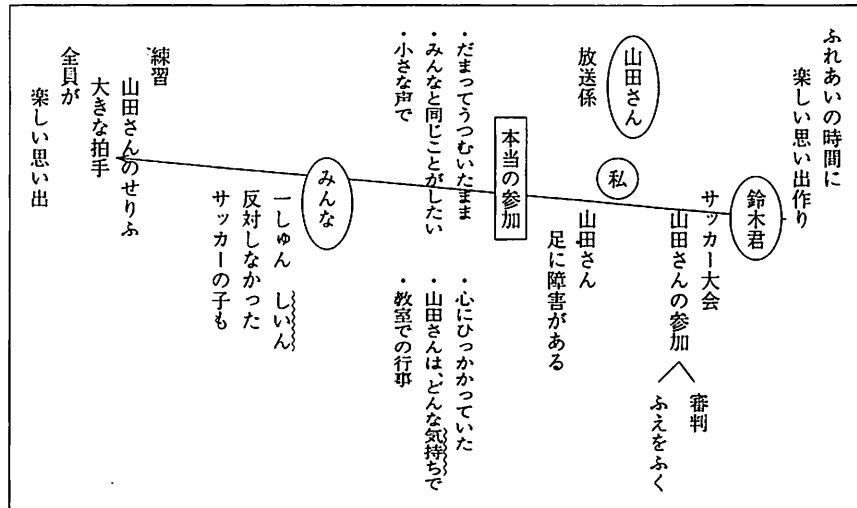
〈資料について〉

ふれあいの時間に何をするかを話し合っていたとき、サッカー大会をすることに決まりかけていたが、主人公の発言をきっかけに、全員が楽しめるものにしようということになっていった。足に障害のある山田さんの参加のしかたについて話し合っていく中で、「きっと山田さんだって、みんなと同じ事をして楽しくすごしたいと思っている」「みんなが参加してこそ意味がある」という考えに変わっていく。心から山田さんのことを考えていこうとするみんなの気持ちに共感させることにより、自分自身の心と向き合いたい。そして、周りのだれに対しても公正公平な態度で接していくことの大切さに気付かせたい。

②ねらい

だれに対しても心のこもった言動で、公正公平に接しようとする態度を養う。

□板書



③展開

学 習 活 動	支 援 上 の 留 意 点
<p>(1) つらい思いをしている友達に、これまでどのように接してきたか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なかなか声をかけられなかった。 ・ 励ましたり、自分にできることはしようとしていたりした。 <p>(2) 資料「ふれあいの時間に」を読んで話し合う。</p> <p>① 山田さんが運動会で放送係になったことやサッカー大会の審判で笛をふくことは、本当に参加しているといえると思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ とにかく何かをしてそれにかかわっているのだから参加している。 ・ みんなと同じことをせず、山田さんだけ別のことをしているのだから参加しているとはいえない。 <p>② 運動会の日、山田さんははつらつと放送をしていたのに、なぜ「わたし」は心にひっかかっていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山田さんもみんなといっしょに運動会に参加したかったのではないかと思う。 ・ みんなと同じ種目に何か工夫して参加したいという気持ちはなかったのだろうか。 <p>③ みんなの話し合いを、山田さんはどんな気持ちで聞いていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のことを考えて意見を言ってくれる友達がいて嬉しい。 ・ できれば、自分もみんなと同じことをして、心の底から楽しみたい。 <p>④ 先生のおっしゃった「楽しい思い出づくり」の意味は、どういうことだったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなが気持ちよく参加して思い出をつくりたい。 ・ 山田さんも含めて、自分の得意なことを発揮できるものをしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちの生活に目を向けながら、ねらいとする価値にかかわる意識がもてるようにする。 ・ 参加しているといえる・いえないの両方の意見を出し合い、それぞれの理由について考えを深めていくことにより、「山田さんも参加する」ことの意味を考えることができるようにする。 ・ 自分の役割をしっかりと果たしている中にも、みんなといっしょにやりたかったという山田さんの思いがあったことに、「わたし」を通して気付くことができるようにする。 ・ 山田さんの心の中にあるいろいろな思いを出せるように、助言する。 ・ この言葉に込められた先生の思いと、生き生きと準備をしたり本番でせりふを言ったりしている山田さんやみんなの姿を結び付けて考えることができるようにする。 ・ 普段自分で実践できていることや今日の学習で学んだことを書くことにより、自分なりの目標や課題をもつことができるようにする。 (心のノート P86・87) ・ 子どもたちの日常生活や日記の中からよい例となるものを紹介し、実践への意欲を高められるようにする。
<p>(3) 自分たちの生活を振り返って考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ こんな学級にするために、自分で心がけていることや、これからがんばっていきたくことを書きましよう。 ・ 仲よしの友達だけでなく、だれにでも同じような態度であたたかく接するようにしている。 	
<p>(4) 教師の説話を聞く。</p>	